

リデュース



食品ロス削減月間

## おいしく 楽しく 食べきろう!!

いま日本では、国民1人1日当たり約お茶碗1杯分の食品が、本来食べることができたにも関わらず、食品ロスとして廃棄されています。

10月は、「食品ロス削減月間」です。食べ物を無駄にするのはもったいないです。食品ロスを減らすために、一人ひとりができることから始めましょう。



普段の生活の中で少し工夫をするだけでも、食品ロスは削減できます。例えば…

- 買い物前に冷蔵庫をチェック! 安くても買い過ぎない
- 調理するときは、食べられる分だけ作る
- 残った料理は捨てずにリメイク! 意外なおいしさが発見できるかも

### ■食品ロス削減推進協力店・事業所■

小盛りメニューや、食べ残しを減らすための呼びかけなど、事業者が創意・工夫をして食品ロスの削減に積極的に取り組んでいる飲食店や事業所等を認定しています。お店選びの参考にしてください。

#### 認定店・認定事業所募集中

事業者の方の参加をお待ちしております。ごみ対策課までお問い合わせください。



このステッカーが目印です

### 市内セブンイレブン店舗内の一部に手前どりPOPを設置します

6月の環境月間に株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携して実施しましたが、10月の食品ロス削減月間においても市内店舗内の食品売り場の一部に、食品ロス削減啓発POPを順次設置します。期限が近い手前の商品から取っていただくよう、手前どりにご協力ください。



### 子ども向け学習コンテンツができました!

くるカメ大作戦!のメンバーが大活躍する学習コンテンツができました。お子さんと一緒に「ごみ」について学んでみましょう。

市ホームページ「ごみ・リサイクル」から「くるカメ大作戦!」をお選びいただくか、右記のアドレスからご覧ください。ダウンロードもできます。

★ごみ処理基本計画の子ども版ができました!

<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/446/kurukame/D040201020210226.html>

★海ごみとマイクロプラスチックについて考えよう

<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/446/kurukame/D040201020210618.html>

## 充電電池が内蔵された製品は有害ごみです

リチウムイオン電池等の混入による発火事故が多発しています。収集車両や処理施設等で火災や爆発事故が起きると、処理施設の運転が停止して、処理が滞る可能性があります。

発火の原因となる家電製品は、携帯電話、モバイルバッテリー、電子タバコ、電気シェーバー、掃除機、デジタルカメラ、ゲーム機など充電電池内蔵製品です。これらの製品はそのまま有害ごみとして出してください。

### 充電電池が内蔵された製品(例)



有害ごみへ



これらのごみの中に絶対に混入させないでください

令和元年度の発火事故

8件

令和2年度の発火事故

16件



↑発火原因のリチウムイオン電池